

## 住宅の気密性能試験結果【P-2】

試験日 令和4年4月27日

## &lt; 依頼者様情報 &gt;

御社名	株式会社松浦建設		
所在地	北海道	住所	〒004-0842 札幌市清田区清田2条1丁目1番34号
TEL	011-882-2045	FAX	011-882-2065

## &lt; 事業所情報 &gt;

会社名	有限会社	タギ建築環境コンサルタント		
所在地	北海道	住所	〒006-0024 札幌市手稲区手稲本町四条四丁目2-31	
TEL	011-215-6799	FAX	011-215-6799	
事業所登録番号	1121	測定者	サデギアン・タギ	登録番号 04329-23

## &lt; 測定対象建物の概要 &gt;

建物の名称	●●●●様邸新築工事		
所在地	北広島市大曲		
竣工年月日	2022/4/27		
構造及び工法	在来木造工法		
建物の規模	地階床面積	0.00	m <sup>2</sup>
	1階床面積	64.59	m <sup>2</sup>
	2階床面積	48.86	m <sup>2</sup>
	3階床面積	0.00	m <sup>2</sup>
	延べ床面積	113.45	m <sup>2</sup> (A)
測定対象外にした部分(空間)の名称			
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積	0.00	m <sup>2</sup> (B)	
吹抜け。床下。小屋裏などの測定対象の相当床面積	C=	7.80	m <sup>2</sup> (C)
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)	S=	121.25	m <sup>2</sup> S= (A)-(B)+(C)
測定対象とした建物の外皮内容積	V1=	315	m <sup>3</sup> (漏気回数を求めるときに記入すること)

## &lt; 測定時の建物条件 &gt;

	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理)
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック(施錠)だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	○	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	停止/テープ貼り	○	
7	台所レンジファン	シャッター閉または目張り	○	
8	換気扇・天井扇	停止/シャッター閉または目張り	○	
9	FF式以外の煙突の穴	ダンパー閉または目張り	○	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を目張り	○	
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	テープ処理または目張り	○	
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	○	
13	特記事項	・測定器設置場所: 1階窓(片開き窓)		

# 住宅の気密性能試験結果【P-3】



## コントローラ測定データ

測定方法 JIS A 2201 送風機による住宅等の気密性能試験方法 による。  
 流量(通気量)および圧力の測定は、定期的に校正した気密測定器を使用して行った。

測定事業所	タギ建築環境コンサルタント	事業所登録番号	1121	Dolphinタイプ	Dolphin-Pro200
測定者	サデギアン・タギ	測定者登録番号	04329-23	Dolphin製造番号	Ds20200301A1a
測定日	2022年4月27日	データ保存時刻	9時47分	試験方法	減圧法
整流筒内径	94.0	圧力センサ	SENSIRION	計測平均時間[s]	10

測定データ※1	測定圧力差	測定通気量	外気温度	室内温度	計測時刻	筒内風速
測定点	$\Delta P_m$ [Pa]	$Q_m$ [m <sup>3</sup> /h]	$t_o$ [°C]	$t_i$ [°C]		$V_d$ [m/s]
1点目	13.4	66.7	15.8	21.0	9:43	2.7
2点目	20.1	102.0	16.0	21.1	9:44	4.1
3点目	31.2	136.0	16.3	21.1	9:44	5.4
4点目	40.5	163.9	16.3	21.1	9:45	6.6
5点目	50.6	200.5	16.0	21.1	9:47	8.0
6回目						
総相当隙間面積 $\alpha A$ [cm <sup>2</sup> ]	39.0	測定時床面積 $A$ [m <sup>2</sup> ]	121.25			
隙間特性値 $n$ [-]	1.30	測定時相当隙間面積 $C$ 値 [cm <sup>2</sup> ]	0.32			

※1. 測定データは気密測定器Dolphinによる測定時のデータをUSBメモリに書き出したもの(データ保護者: 製造元EOM(株))

気密性能試験結果		◎ 適宜網掛け部分に入力・変更してください			
測定概要		試験方法	1	{1=減圧法, 2=加圧法}	
測定対象	●●●●様邸新築工事	所在地	北広島市大曲		
測定時期	工事途中、完成時、他	完成時			
天候	晴れ	風向	北	風速 [m/s]	1
気圧[hPa]	1013.25	室温 $t_i$ [°C]	21.1	外気温 $t_o$ [°C]	16.1
床面積 $S$ [m <sup>2</sup> ]	121.25	平均天井高 $H$ [m]	2.60	室容積 $V=S \times H$ [m <sup>3</sup> ]	315.25
データ補正※2		差圧-風量グラフ			
差圧 $\Delta P$ [Pa]	隙間通気量 $Q$ [m <sup>3</sup> /h]				
13.4	65.6				
20.1	100.3				
31.2	133.7				
40.5	161.2				
50.6	197.1				
決定係数 $R^2$ ( $\geq 0.98$ )	温度差補正係数 $K$				
0.992	0.983				
空気密度 $\rho$ [kg/m <sup>3</sup> ]	係数 $b$				
1.221	0.693				
隙間特性※2		気密性能※2			
総相当隙間面積: $\alpha A = Q_{9.8} \times b$ [cm <sup>2</sup> ]	36.9	相当隙間面積: $C$ 値 = $\alpha A / S$ [cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ]	0.3		
隙間特性値: $n$ ( $1 \leq n \leq 2$ )	1.25	気密性能ラベリング※3	☆☆☆+		
1Pa時 通気率: $a$ [m <sup>3</sup> /h·Pa <sup>(1/n)</sup> ]	8.6	(参考)50Pa時漏気回数: ACH [回/h]	0.6		
9.8Pa時 通気量: $Q_{9.8}$ [m <sup>3</sup> /h]	53.2	(参考)50Pa時通気量: $Q_{50Pa}$ [m <sup>3</sup> /h]	195		
※2. JIS A 2201およびIBEC気密測定技能者講習テキスト「住宅の気密性能試験方法」をもとに、測定データから補正・計算した(データ保護者: EOM(株))					
※3. 性能ラベリングは製造元EOM(株)によるもの。(参考: 住宅省エネ基準(平成11年)気密住宅 温暖地5以下、寒冷地2以下)					
☆☆☆+: C値0.2以下(超高气密+), ☆☆☆+: 0.5以下(超気密+), ☆☆☆: 1.0以下(超高气密), ☆☆☆: 2以下(高气密), ☆: 5以下(気密住宅)					